廃止あかん 大阪市

5.17住民投票

# 弱体化してダメになる

京都大学大学院教授
藤井 聡（さとし）さん

「大阪都」構想で大阪はどうなるか。

まず、大阪市を解体し、大阪市の２２００億円分の財源と権限を大阪府に移す。残りの６千数百億円が分割されて小さい五つの特別区ができる。結局、府と市のツー大阪がシックス大阪になると解釈せざるをえないんじゃないかと。したがって、大阪市が分割されて弱体化するのは明らかです。

「都」構想をやるとどうなるのか。これは都市計画の観点からいうと、大阪のまちがダメになります。なんでダメになるのか。理由はいくつもあります。

まず、過激な組織改革ですから、行政のパワーが前向きなまちづくりに使えなくなる。実現した後も大混乱が生まれます。二つの市が合併しただけでも混乱するのに、一つの市を五つに分けなあかんのやから当たり前やろと。ですから、当面都市計画が停滞するということが考えられます。

それ以外にも、現大阪市民は都市計画の財源と権限が失われる。これは協定書に書かれている事実です。

さらに、ノウハウと技術力、人材が大きく失われることが危惧されます。今の大阪市都市計画の部隊が分割され、それぞれの特別区にいく。分割されるだけでなく、一部は大阪府に吸い上げられます。一つの部隊が６分割されるということですから、これだけで弱体化になるわけです。

手続きも圧倒的に煩雑化します。例えば、今なら大阪府との調整もなく、大阪市の調整だけで御堂筋に関する開発が可能ですが、これからは北区と中央区の二つで議論しないといけなくなる。それぞれの区長はそれぞれの区民の負託を受けてますから、利益相反があったときにもめないわけがない。同時に知事の権限も強くなりますから、知事と複数の区長で調整せなあかんようになり、手続きは煩雑化するということです。

一つの行政がやってることが五つに分かれて事務が増えるんですよ。忙しくなるし能力もなくなるし、ややこしくなるしお金も権限もなくなるんやから、行政サービスは下がるに決まってるじゃないですか。

この投票で一番重要なポイントは、大阪市をつぶすかどうかです。大阪市をつぶすデメリットを上回るメリットがあることを証明できないかぎり、本当はやったらあかんのですよ。

わざわざ大阪市をつぶさなくても大阪・関西をよみがえらせる計画はいくらでもあります。足元の伝統・文化を大切にし、市民と民間と役所が協力し、京阪神・関西で共同し、中央政府と連携し、西日本の各地と〝つなぐ〟まちづくり、地域まちづくりを進めればいいんです。

成功するまで努力し続けるのがまちづくりなんですよ。みんなで協力しながらやれば、大阪は必ずよみがえります。なぜか。よみがえるまで頑張るからですよ。それがまちづくりっちゅうもんです。（9日、大阪市で）